^(参考) 産地生産基盤パワーアップ事業 都道府県事業評価参考様式

都道府県名 宮崎県

I 産地パワーアップ計画(収益性向上タイプ)

(2) 販売額	スは所得額	[の10%以上			成果目標現状	•					│目標						宇結						スマート農業推進枠	地域	(県又は国)の B(販売単価)	 補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法	達成率 (%)	地域協議会 等の評価	都道府県 の評価	備考	
室 央農生	協議・ 中域再議・ 整理・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	区名	対象作物	取組 時代を担うマンゴー 制整備 ①販売力強化に向し ②生産力の向上に ③人財の育成に向し	−産地強化への ナた取組 向けた取組	年度 (年度) (本版) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金	単化 1,089,825 干	位 22.04	Title	量又は出荷量 単位 4 t	価格 単位 3,078 円/kg	選定 年 単位 度		面積 位 「 千円 22.84	生産量又は出荷量 単位 和a 405 t	3, 104	単位 単位 単位		213,001 千円	単位	生産量又は出荷量 単位 284.3 t	価格 耳 4, 266 F	生産コスト 単位	年度 導入・定着の取る	事業実施前年	度 目標年度 単位			R5年度の個別申告書やJAの販売実績データを基に検証。 ・現状値 (平成27年度総販売額:1,089,825千円/22.04ha) ※販売額、面積はJA宮崎中央実績より ・目標値 (R5総販売額:1,256,134千円/22.84ha) ※販売額はJA宮崎中央中期計画、面積は生産者意向調査により算出 ・目標/現状=1,256,134千円/1,089,825千円 →15.3%の増加 【価格補正の根拠】 JA宮崎経済連の販売実績より	-69. 6%	達成状況:全体として収穫期の 雲天や降雨によりハウス内の湿 度が上がり裂皮被害(収穫前~ 自然落下の際に軸から皮が裂け てしまうこと)が多く、規格外 となることが多かった。また作 終盤の軸腐れや炭疽等の病気に	産地面積は維持できての、地域のブランド戦低階級品は市場出荷をめ、JAへの出荷量が少た。 今後も関係機関と連携品質向上に向けた指導	いるもの いるして するた なかっ しながら	
地	テ中央 注機議 会	宮(崎佐地高 田区国崎南地土区州 田区野)国	野菜也	①販売力強化に向け②生産力の向上に向③人財の育成に向け	けた取組 た取組	総販売額 の10%以 上の増加	30 5, 998, 959 千F	円 120.	. 5 ha 20,	, 198 t	297 円/kg	5	6, 939, 187 T	·円 131. 2	na 22, 708	305. 6	6 円/kg	5 6,	543,470 千円	124. 9 ha	20, 734 t	315.6			キュウリ 320.3円 大玉トマト 259.0円 人参 89.4円 ねぎ 235.7円	キュウリ 340.3円 大玉トマト 324.5円 人参 76.9円 ねぎ 407.4円	キュウリ 0. 941 大玉トマト 0. 798 人参 1. 162 ねぎ 0. 578	6, 148, 685 ∓ F	R5年度JAの販売実績データを基に検証。 【価格補正の根拠】 JA宮崎経済連の販売実績より	15. 9%	① 中央 では、	産地は拡大しているものりも少ない増加率となっ 今後も関係機関と連携し 保及び収量アップに向け を継続する。	の、予定よ た。 、担い手確 た取組支援 2期計画	
尾: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	治地域 注再生 85 議会	川南田都農田	・ 施設野菜	施設ピーマイ	導入により安定を スを導入するこの 図り、更に規模打 の向上及び販売額 や生産状況の情報	生 総販売額 拡 の10%以 額 上の増加 報	30 139, 833 ∓ F	円 3.5	53 ha 407	7. 24 t	343. 4 円/kg	R5	252, 582 🛨	·円 5. 45 k	na 713. 30 ^t	354. 1	1 円/kg	5	245, 162 千円	5. 63 ha	578. 25 トン	424. 0 F	I/kg		458. 1 円/	kg 525.0円/kg	g 0. 873	214, 026千円	検証方法:JA尾鈴ピーマン部会の販売額にて検証 【価格補正の根拠】 JA宮崎経済連の販売実績より	65. 8%	定植後から春先の天候不順の影響を 受けて減収した。環境制御装置導入 等により早期達成を目指し関係機関 が連携して指導する。	天候不良や病害による収で達成にいたらなかった。このため、関係機関・団し、生育状況に対応した環境制御装置を活用した。 う指導し達成を目指す。	。 体と連携 肥培管理を	
日農:]地域 :再生 84 議会	椎葉木	野菜(ほう)れんそう)	①販売力の強化 ②生産力の向上	③人財の育成	総販売額 の10%以 上の増加	30 48, 081 ↑ F	円 2.5	51 ha 61,	, 485 kg	782 円/kg	5	67, 724 1	·円 3.0	na 83, 302 kg	813	3 円/kg	5	45, 326 千円	2. 8 ha	54, 331 Kg	834 F			796 円/	sg 908 円/kg	g 0. 877		検証方法: JA日向ほうれんそう 部会の総販売額にて検証 【現状値】 ①: 48,081千円 H30年度の販売量61,485.4Kg H30年度の単価 782円/Kg 【目標値】 ②: 67,724千円 R5年度の販売量83,302Kg R5年度の単価 813円/Kg ②/①→40.85%の増加 【価格補正の根拠】			収量が計画より控除せずなかった。 このため、地域の技術員技術や台風対策の指導を 販売量を確保し、目標達す。	会より栽培	
宮地,再:	于中央 注機議 会	宮崎市佐土原地区	野菜	①販売力強化に向け ②生産力の向上に向 ③人財の育成に向け	けた取組	総販売額 の10%以 上の増加	30 659, 969 千F	円 25.8	86 ha	783 t	843 円/kg	5	778, 468 T	·円 30. 78 년	na 924	842	円/kg	5	463, 575 千円	23. 04 ha	870 t	533 F	I/kg		913.1円 ゴーヤー 1,905.3円 里芋 384.3円 生姜 205.6円 らっきょう 347.0円 オクラ 753.0円	千切り大根 621.5円 ゴーヤー 1,547.6円 里芋 385.9円 生姜 207.2円 らっきょう 344.7円 オクラ 812.0円	1. 469 ゴーヤー 1. 231 里芋 0. 995 生姜 0. 992 らっっきょう 1. 006 オクラ 0. 927	477,805千円	JA宮崎経済連の販売実績より R5年度JAの販売実績データを基に検証。 【価格補正の根拠】 JA宮崎経済連の販売実績より		作物の病気や収量低下、単価安の影響により、販売額は達成にいたは達成にいたはでいた。今後も収量とも間ででは、取のの力を継続するとは質に、取のの力を継続する。 主ののでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、、、単価をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	担い手を対象に産地払入	で図る。 2期計画 が、促成 81み合わせ	
業	3市農 ī生協 86 養会	穂北	ピーマン	施設ピーマン産地の 構造へ移行 ①高度な複合的環境 により安定生産のの ②販売と連携制の高 の生産者相互の表 のの向上を図る取組	制御技術等の確認 組 単価時期(厳寒期 立に向けた取組 や生産状況の情報	立 販売額 別) 10%以上 の増加 報	30 4, 261 千F /10	円 0a 17.0	03 ha 2, 09	99 t	346.0 円/kg	5	4, 693 7	·円 0a 17.3 h	na 2339 t	347. 0	D 円/kg	5	5, 741 千円 /10a	13. 42 ha	1408 t	547. 0 F			なす 460.1 円	なす 557.8 円	なす 0.825	4, 736千円/10a	検証方法: J A 西都ピーマン部会穂北支部の販売額にて検証 【現状値】 ①: 4, 261千円/10a H30年度穂北支部の販売額: 725, 821千円 H30年度穂北支部の面積: 17.03ha ※1期目計画の目標値 【目標値】 ②: 4,693千円/10a ※R3年新たな取組による上方修正 R5年度穂北支部の販売額: 811,889千円 R5年度穂北支部の面積: 17.3ha 【価格補正の根拠】 JA宮崎経済連の販売実績より	110. 0%	JA西都ピーマン部会 (穂北地区) の 面積は減少しているが、面積あたり の収量は個々の取組及びスマート化 により増加している。今後も産地維 持・拡大に努めたい。	栽培技術の向上と事業導 用により反収が向上し、	入設備の活 目標達成と NO. 7 2期計画	
業	3市農 1生協 87 養会	西都西	昼 ピーマン	施設ピーマン産地の構造のなるをできるでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1の	制御技術等の確認 組 単価時期(厳寒期 立に向けた取組 や生産状況の情報	立 販売額 別 10%以上 の増加 報	30 3,882 千F	円 0a 9.8	85 ha 1, 077.	7.9 t	355.0 円/kg	5	4, 275 1	·円 0a 9. 11 h	na 1097 t	355. (D 円/kg	5	5, 337 <mark>千円</mark> /10a	7. 5 ha	703 t	569. O F	I/kg		460.1 円/	sg 557.8円/kg	g 0. 825	4, 403千円/10a	検証方法: J A 西都ピーマン部会西支部の販売額にて検証 【現状値】 ①:3,882千円/10a H30年度西支部の販売額: 382,276千円 H30年度西支部の面積:9.85ha ※1期目計画の目標値 【目標値】 ②:4,275千円/10a ※R3年新たな取組による上方修正 R3年度西支部の販売額: 389,452千円 R3年度西支部の面積:9.11ha ※販売額はJ A 西都中期計画、面積は生産者アンケートより。 ②/①→10.0%の増加	133. 1%	JA西都ピーマン部会(西地区)の面積は減少しているが、面積あたりの収量は個々の取組及びスマート化により増加している。今後もJA、普及センター等の関係機関と連携し、産地維持・拡大に努めたい。	栽培技術の向上と事業導用により反収が向上し、 なった。	入設備の活 目標達成と NO.8 2期計画	
業	市生協 94	小野区		①生産力の向上 ②販売力の強化 ③人財の育成		総販売額 の10%以 上向上	30 246, 226 千F	円 61.	. 5 ha 1, 10	08 t	222. 0 円/kg	(3) 5	272, 668	·円 ^(68. 2) h	na (1, 228) 1, 230 t	222	2 円/kg	5	178, 009 千円	64. 6 ha	1, 163 t	153 F	l∕kg		515 円~	′kg 510円✓I	kg 1.010	179, 789 千 F	【価格補正の根拠】 JA宮崎経済連の販売実績より JAこばやしごぼう生産部会実績、生産者聞き取りにより検証 ○現状値(H30年度実績) ・作付面積: 61.5ha ・生産量: 1,108t ・総販売額: 246,226千円 ○目標値(R5年度計画) ・作付面積: 68.3ha ・生産量: 1,230t ・総販売額: 272,668千円 (R5年度作付面積は生産者聞き取り) ●目標値/現状値 =272,668千円/246,226千円 →10.7%の増加 ○実績値(R5年度実績) ・作付面積: 64.6ha ・生産量: 1,163t ・総販売額: 178,009千円 【価格補正の根拠】 JA宮崎経済連の販売実績より	-251. 2%	①の現芸にはる作地の現法にはる作地の現芸にはる作地の取送にではよいでは、にいずにでは、は、ののでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	ハーベスターやでは、 ・ では、 ・	スレ入いあ下増調 プンし、るに加でしど。 ーヤ模付、り見る生売 ー拡面市、込。産額	

都城市農業議会	98 都	城市 馬鈴薯	露地野菜店地の形成の推進の形成の工作。 「1」の形成の工作の形成の工作。 「2」をでは、「2」では、「3、「3」で、「4」で、「4」で、「5」で、「5」で、「6」で、「6」で、「6」で、「6」で、「6」で、「6」で、「6」で、「6	題の取組を 第10%以上 の出荷に必 に販売を行 に販売を行 の増加 に適切な は質及び収 目手先要望	30 171.9 千円 /10a	166. 1 ha	4, 300 t	66 円/kg	5	189. 4 千円 /10a	181. 7 ha	5, 214 t	66 円	/kg	5	146. 0 千円 /10a 135. 6	6 ha	2, 844 t	69.6 円∕kg		66 円 g	/k 66 円/g	1. 000	146. 0千円/10	R2年販売実績とR5年販売実績にて検証を行う。 【現状値】 ①:167千円/10a R2年度馬鈴薯販売額 20,853千円/12.5ha 【目標値】 ②:183.6千円/10a R5年度馬鈴薯販売額 23,868千円/13.0ha ②/①→10%の増加 【実績値】 ③:152.5千円/10a R5年度販売額16,017千円 R5年度面積 10.5ha ③/①→7.8%の減少	-148.0%	本事業における機械導入により、作業効率を改善し高齢化による人手不足の影響を軽減するとともに、収量UP及び面積拡大を図ったが、面積及び収量について目標達成に至らなかった。今後は、馬鈴薯部会での研修や機械操作の習熟等により作業の更なる効率化を進め収量維持を図るとともに、面積拡大に取り組んでもらいたい。 **********************************
延岡市農業再生協議会	104 延	リ、	① 産地における担い手をでとした経営の規模拡大を図る 企業 ② 産地における生産環境の の増加の取組 ③ 企業的経営を行う生産 議会の設立及び会員相互の に	D改善によ 域、生産量 10%以上 R1 の増加 情報交換 取組	41, 494 千円	全体 1.24 キュウリ 0.48 イチゴ 0.76	キュウリ 62 イチゴ 23	キュウリ 280 イチゴ 1,035	R5	60, 917 千円	全体 1.51 キュウ リ ha 0.66 イチゴ 0.85	キュウリ 98 イチゴ 32 t	キュウリ 280 g イチゴ 1,035	/ k	5	全体 1.51 キュウ リ 0.66 イチゴ 0.85		Fュウリ 111 ^t イチゴ t	キュウリ 322 円/k イチゴ ^g 1,622		L ウリ 322 チゴ 174	キュウリ 354 kg イチゴ 1,314	キュウリ 0.910 イチゴ 0.893	67, 271 千	R5年度の税申告による出荷実績を基に算出 【価格補正の根拠】 JA宮崎経済連の販売実績より	132. 7%	機械導入等により省力化が図られ、 生産者の栽培管理と、関係機関等の 指導により、目標を達成することが でき、目標を達成することができた。
尾鈴地域 農業再生 協議会	106 都	南町 施設野豊 (キュワ	へ移行 ①環境制御技術等の導入に。 産の取組 菜 ②機能向上したハウスを導力	にり安定生 、すること 販売額の 10%以上 が販売額 の増加 はび販売額	1 4,760 千円 /10a	5. 87 ha	877. 00 t	318. 4 円/kg	R5	5, 236 千円 /10a	5. 93 ha	969. 59 t	: 320.0 円	/kg	5	5, 596 <u>千円</u> 3. 92	2 ha	651.34 トン	336.9 円/kg	32	22. 5 円/	ˈkg 348.8円/kg	0. 925	5, 176千円/10	検証方法:JA尾鈴ハウス胡瓜部会の販売額にて検証 Da 【価格補正の根拠】 JA宮崎経済連の販売実績より	87. 4%	部会員の高齢化によるリタイヤ等で 当初会員は減少しているが、新規部 会員の加入もあるため肥培管理のな どの指導を丁寧に行うことで目標達 成を図る。 環境制御装置を活用し、肥培管 理と温度管理を見直すよう指導する ことで目標達成が見込まれる。
尾鈴地域 農業再生 協議会	107 都	南町 施設野	施設トマト産地の収益力の高 造へ移行 ①環境制御技術等の導入に。 産の取組 ②機能向上したハウスを導入 で大き環境の改善を図り、	にり安定生 、すること 販売額の 10%以上 が販売額 の増加 はび販売額	1 4,050 千円 /10a	5. 13 ha	441. 97 t	469.9 円/kg	R5	4, 455 /10a	5. 13 ha	483. 11 t	. 473.1 円	/kg	5	5, 353 千円 /10a 4. 46	6 ha	440.7トン	541. 9 円/ kg	41	1. 1 円/ kg	501. 3 <mark>円</mark> /kg	0. 820	4, 389千円/10a	検証方法:JA尾鈴トマト出荷者組合の販売額にて検証 【価格補正の根拠】 JA宮崎経済連の販売実績より	83.8%	中玉トマトを中心に実績が高くなったが、気象の変化に伴う株の生育環境の変化や生育状況に応じた栽培管理が不十分であり、着果不良や病害虫の変化や病害虫の発生により目標達成ができなかったことから、対策について指導を行い、目標達成を図る。 環境の変化に対応する肥培管理、病害虫防除について指導を行うことで、目標達成は可能と考えられる。
都城市農業再生協議会	112 池	城市 食用甘	諸 集出荷貯蔵施設の整備	販売額の 10%以上の 増加	2 376, 488 千円	105 ha	1, 775. 5 t	359 千円 /10a	5	564, 790 千円	135 ha	2453 t	± 418 /1	円 Oa	5 69	91, 680 千円 118	8 ha	2, 600 t	586 千円/ 10a						R5年度の販売実績データを基に検証 【現状値】 359千円/10a 販売額376, 488千円 面積105ha 【目標値】 418千円/10a 販売額(564, 190千円) 564, 790千円 面積135ha 【実績値】 586千円/10a 販売額691, 680千円 面積118ha	167. 3%	令和5年度目標数字を達成できた事は良かったが、全国的に生産量が伸びており、販売価格が下落傾向にあることが懸念される。販売努力を引き続き行う。 N0.46 2期計画 生産技術の向上と販売力強化について、市、JAを含めた関係機関と支援を継続して実施する。 契約栽培のため価格補正無し
日向地域農業会協議会		川町 大玉ト	マ ①販売力の強化 ②生産力の強化 ③人財の育成	販売額の 10%以上の 増加	1 209, 916, 996 円	3. 82 ha	346. 2 t	606 円/kg	5	247, 636, 556 円	4. 35 ha	352 t	: 703 円	/kg	5 229, 385,	, 234 円 4. 35	5 ha	355 t	646 円/kg		259 円/	ˈkg 322 円/kg	0. 804	184, 425, 728	JA日向取扱実績でのR1実績との比較 ①【R1現状値】 総販売額 209,916 千円 面積 3.82ha ②【R5目標値】 総販売額 247,636 千円 面積 4.35 ha ③【R5実績値】 総販売額 229,385 千円 面積 4.35 ha 【価格補正の根拠】 JA宮崎経済連の販売実績より	-67. 5%	取組実施者について、単価については前作を上回ったが、夏場の高温の影響を受け産地全体で収量が落ち込み、販売金額が減少し目標が達成できるように取組を行う。 産地全体としても、梅雨が長引いたことや年明けの天候不順などもあり、収量を落として販売金額も前年を下回る229,385千円という結果となった。来作は今作の課題を解決し、目標の達成に向けて取り組んでいく。

(5)農産物輸出の取組(直近年の輸出実績がある場合の輸出向け出荷量又は出荷額の10%以上の増加、新規の取組の場合又は直近年の輸出実績がない場合の総出荷額に占める輸出向け出荷額の割合5%以上又は輸出向け年間出荷量10トン以上)

			成果目	標																		
 地域協議 整理		11 & 15 th	T- 40 + c		現状				目標	<u> </u>					実績					事後評価の検証方法(※	達成率 地域投議会等の証価 教送佐児の証価 教送佐児の証価	/++ →-
地域協議 整理会名 番号	地区名	対象作物	取組内容	年度		面積 単位		又は 輸出向出荷量 「単 又は出荷額 単 位 位	年度	面		総出荷量又は 総出荷額 単 位	輸出向出 又は出荷額		年 度	面積	総出荷量又			」と 。)	(%) 地域協議会等の評価 都道府県の評価	備考
宮崎中央地域農業 114 会	宮崎岡地区	畑作物· 地域特 物(茶)	①販売力強化に向けた取組 ②生産力の向上に向けた取組 ③人財の育成に向けた取組 の増	+ 出荷 6以上 2 加	2 36.7 t	21. 8 ha		36. 7 t	5	42 t 21.8	ha		42. 0	t	5 52.2 t	20. 9 h	ıa		52. 2 t	当産地では児湯郡茶農協を経由し、国内商社から海外輸出されているための販売出荷実績を基協の販売出荷実績を基は、136.7t/21.8ha・目標値 輸出量:42.0 t/21.8ha・目標値/現状値=42.0t/36.7t→14%の増		
宮崎中央地域農議	南宮崎	土地利用型作物(水稲)	①販売力強化に向けた取組 ②生産力の向上に向けた取組 ③人財の育成に向けた取組 の増ま	%以上 2	2 9.6 t	43. 4 ha	208. 3	t 9.6 t	5	59 t 54.3	ha	260. 6 t	59. 0	t	5 17.2 t	53. 7 h	a 257. 8	t	17. 2 t	R5年度JAの輸出用販売 日本連貫を基に の輸出を基に の輸出を基に を基に を基に を基に を基に の輸出を の制制を の制制を の制制を の制制を の制制を の制制を の制制を のは のは のは のは のは のは のは のは のは のは	②本事業の取組:トラクター、コンバイン等の整備により栽培管理を適期に行うことで、品質向上を図り、海外への優位販売、契約販売の拡充、出荷量の向上を図った。 15.4% また、主食用米・輸出用米等の団地化を図りつつ、コンバイン等の整備により労働生産性の向上を図り、輸出用米の拡大を目指した。さらに、部会組織を通して、リーダーや次世代リーダーを育ます。大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大	

都道府県平均達成率		評価対象産地計画16件のうち、目標を達成した計画は5地区となっている。 未達成の主な要因は、病害や高温による直接的な減収や品質の低下による出荷数量が確保ができなかったこと、新たな担い手の確保が不十分であったこと等となっている。 病害や高温など外部要因の影響が一部あるものの、今後の目標達成に向け、安定した収量と品質を確保するため、気象や病害等の発生状況を適格に把握し、技術指導を関係機関と連携して行い、適正な栽培管理を徹底していくとともに、担い手及 び出荷先の確保については、関係機関と連携し、現状把握・分析に努め、技術支援及び販売対策の支援体制構築を図ることにより、改善に取り組んでいく。 これらの支援を継続的に実施し、未達成となった11地区について成果目標の達成を目指す。
-----------	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Ⅱ 産地パワーアップ計画(生産基盤強化タイプ)

(1)農業用ハウスの再整備・改修

ア 産地の成果目標

				産地の成果目標(総販売	 売額又は総作付面和		票)									
 地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	現状			目	·····································			実績			ー 事後評価の検証方法 (※定量的	 達成率 地域協議会等の評価	┃ ┃ 都道府県の評価 ┃ 値
20% 加强五石	正在田勺	75E-11	73 % (F1)X	年度	面積	総販売額 単位	年度	面和	養 総販 単位	売額 年度 単位		面積 単位	総販売額 単位	̄な検証ができること。) ─	(%) 地域励識云寺の計画	BINETH WOOD IN
小林市農業科生協議会	1	小林市	きゅうり	総作付 2 面積 の維持	3. 77 ha	一 千円	3	総作付 面積 3.77 の維持	ha —	千円	総作付 5 面積 の維持	2. 99 ha	一千円	JAこばやしきゅうり部会及び小林市の作付調査により検証 ・現状値(R2):3.77ha ※JA部会及び小林市の作付調査結果より ・目標値(R5):3.77ha ※生産者の意向調査結果により算出 ・実績値(R5):2.99ha	事業承継による新規就農 者の確保により、産地の 維持を図っているが、高 齢化による離農等があ り、面積は減少傾向にあ る。引き続き、規模等に や新規就農者の確保等に より産地維持を図ってい	などもあり、面積は減少

					取組目標1												
ţ.	地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物		現状			目標		実績			事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	平均 達成率	 地域協議会等の評価	 都道府県の評価
			- 	7323411 123		年度	数値	年度		数值	年度	数值			(%)	3 70 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	AF 2.17, 713 9 11 12
							単位			単位			単位				
	小林市農業再 生協議会	1	小林市	きゅうり	当該品目 販売額の 増加	2 の販売額	0 千円	5	きゅうりの販売額	2,646 千円	5 の販売額	2, 143	千円	JAこばやし出荷実績により検証 ・現状値 (R2実績) 面積:0a 数量:0kg 販売額:0円 ・目標値 (R5計画) 面積:8a 数量:8,852kg 販売額:2,646千円 現状値-目標値=2,646千円の増加 ・実績値 (R5実績) 面積:8a 数量:6,865kg 販売額:2,683千円 価格補正後の販売額:2,143千円	80. 9%	加温機や炭酸ガス発生装置等の導入により、ハウス環境の適正化を図ったが、販売金額の目標を達成出来ていない状態である。関係機関が連携し、栽培技術や経営の向上に向けた指導を行っていく。	加温機や炭酸ガス発生装置等の導入により、ハウス環境の適正化を図ったが販売金額の目標を達成することができなかった。引き続き、関係機関が連携し、収量向上に視する栽培技術等を指導し安定経営につながる支援を行っていく。

ウ 総合所見

都道府県 平均達成率 (面積) 79.3% 都道府県平均達成率 (総販売額) 81.0%	総合所見	評価対象産地計画1件のうち、目標を達成した計画は無しとなっている。 未達成の主な要因は、高齢化等による離農で、産地面積が減少したためである。 今後の目標達成に向け、新規就農者を確保するため、トレーニングファームでの研修受入や事業承継等の推進を引き続き行い、新規就農者の確保に努めるとともに、生産体制の効率化 による規模拡大等を促すことで、改善に取り組んでいく。 これらの支援を継続的に実施し、未達成となった1地区について成果目標の達成を目指す。
-------------------------------------------------------	------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------